

# 閉そく状況打開の展望を持つ党に確信を持ち、「近畿は一つ」で大激戦を勝ち抜いて、必ず4議席に前進を

## 得票目標を決定し、「支部が主役」の自覚的選挙戦に

解散・総選挙含みの情勢のもとで、対話・支持拡大運動の本格的な波を作り出していくが必要になっています。来るべき総選挙は、「二大政党づくり」の動きが破たんしに直面する新しい情勢のもとで、「21世紀の早い時期に民主連合政府を樹立するという目標に向け新たな本格的スタートを切る」(4中総決定)という非常に大切な選挙です。4中総決定では、そのために「比例を軸に」を貫き、650万票以上(得票率10%以上)を獲得し、すべての比例代表ブロックで議席獲得・議席増をめざすことを決めました。これを実現するためには支部が全国650万、近畿160万の得票目標に見合う得票目標を決め、自覚的に選挙戦をたたかうことが大切です。得票目標の決定は、「支部が主役」の選挙戦の“かなめ”です。この政策宣伝資料を得票目標決定の促進に活用して下さい。

### 「比例が軸」は「基本のなかの基本」

#### 比例代表を自らの選挙にする一大画期に

4中総決定は、今回の総選挙を「比例代表選挙を『自らの選挙』として取り組む一大画期の選挙に」と呼びかけました。そして「比例代表選挙の仕組み(別項)をよくつかみ、議席増のためには自らが責任を負う党組織でどんな取り組みが必要かを自覚化すること」を強調しています。

比例代表選挙の基本的な位置づけは、「選挙戦の重点、議席を取る主要な舞台」であり、「ここでのたたかいが軸になるということは、総選挙にとりくむ基本のなかの基本」(22大会10中総、不破哲三議長の発言)です。あらゆる結びつきを生かし、近畿、全国のどこでも「政党を選ぶなら日本共産党」と、支持を広げに広げましょう。

### 得票目標160万票実現。現有3議席を絶対確保し

#### 今度こそ4議席を

比例近畿ブロック(定数29)での得票目標は160万票以上(得票率13.3%以上)です。現有3議席を絶対確保し、4議席への前進をめざします。比例代表選挙が導入されて以来の近畿ブロックでの獲得議席は1996年6議席、2000年5議席、2003年、05年、09年はいずれも3議席でした。10年近く、3回連続して3議席にとどまっています。3議席を絶対確保し、今度こそ4議席に前進させましょう。

近畿選出議員は、国民の願いで政治を動かす先頭に立っています。暮らしを守り、国政を動かす誇りある議席です。4議席に前進すればもっと多くの仕事ができます。こくた恵二さん(現)、宮本たけしさん(現)、清水ただしさん(新)、堀内照文さん(新)の4人を必ず国会に送りましょう。(吉井英勝さんは今期で引退します)

### 全国の前進に決定的な位置を占める近畿ブロック

#### 誇りと責任を自覚してがんばろう

衆議院の比例ブロックは全国に11ありますが、近畿ブロックは定数(29)、有権者(1680万人)とも最大です。党の得票、党・後援会

#### ●衆議院選挙の仕組み

衆議院の選挙制度のあらましは次の通りです。

#### □「2票」ある。比例は政党名で投票

衆議院選挙は「2票」あります。小選挙区(定数1。全国で300選挙区、近畿は48)は候補者名で投票し、比例代表は政党名で投票します。参議院の比例代表と違って個人名で投票すると無効になります。全国11のブロックに分かれており、総定数は180。近畿ブロックの定数は29です。

#### □比例代表は全ての票が議席に結びつく

当選者は、得票数に応じて政党ごとの獲得議席数が決まり、あらかじめ各党が決めた名簿順位に従って当選者を決めていきます。「日本共産党」と書いていただく人が増えるほど議席が増え、どの一票もムダになりません。

#### □近畿という「選挙区」で、政党が「候補者」の選挙

比例代表選挙は、大阪、兵庫、京都、滋賀、奈良、和歌山からなる近畿ブロックという「選挙区」で定数29をめぐる政党が「候補者」となって議席を争う選挙です。

#### □1議席に必要な得票率は3.3%

近畿ブロックの得票目標160万票の根拠は次の通りです。

どんな組み合わせになろうと、一人が絶対に当選できる得票率は、100%を「定数+1」で割った数です。近畿ブロックの場合は $100\% \div (29+1) = 3.3\%$ 。4議席には13.3%が必要です。

得票目標は総投票数に13.3%をかけた数字です。近年最高の投票率(1980年の69.85%)を仮定すると約155万、2009年選挙なら約152万です。

近畿2府4県の党組織の得票目標合計は169万8000です。3県が13.3%に見合った目標に引き上げ、4議席実現の構えを一層はっきりさせました。

の勢力、国会・地方議員数のどれをとっても全国トップクラスです(資料参照)。

近畿は、歴史的にも国政選挙での前進の先頭を切る奮闘をしてきました。中選挙区時代に6府県すべてで議席を持ち、京都1区では2回にわたって複数議席を獲得、大阪では全選挙区で議席を獲得しました(いずれも72年、79年)。大阪では定数1で2回勝利しました(73年参院補選・沓脱タケ子さん、88年参院補選・吉井英勝さん)。小選挙区制が導入されたもともとでも京都で寺前巖さんが勝利しました(96年、京都3区)。

「党の前進にとって決定的な位置を占めているのが近畿です。ここでのがんばりいかんが、全国的な前進・後退に直結」します。「『近畿が変われば日本が変わる』、『日本の夜明けは近畿から』といってもいいすぎではない。そういう位置と役割に誇りを持とう。同時に責任を自覚し」がんばりましょう。(市田忠義書記局長＝4月22日、日本共産党後援会近畿ブロック連絡会結成総会での講演より)

(裏に続く)

## 躍進を勝ち取りうる新しい情勢は近畿でこそ鮮明 閉塞打開の展望を語りぬこう

「二大政党づくり」が破綻に瀕し、日本の政治は文字通り大きな歴史的岐路にあります。いま幅広い国民の中に打って出て、要求を掲げてともにたたかい、日本改革の展望を広く語れば前進・躍進を勝ち取りうる新しい情勢が生まれています。がんばり次第では第1の躍進期(70年代)、第2の躍進期(90年代)を上回る躍進の可能性が横たわっています。それは近畿でこそ鮮明です。

### □「二大政党」の支持基盤崩壊。新しい政治への流れ広がる

近畿では「二大政党」の支持基盤の大崩壊が進み、新しい政治の流れが広がっています。今年2月の京都市長選挙では、党推薦候補が46.1%、自民党中心の市政になった1985年以降で2番目に高い得票率を獲得し、無党派の5割以上の支持を得ました。1月の滋賀県津市長選挙では、党推薦候補が前回得票の2倍、1万票以上伸ばし、党単独推薦としては過去最高得票しました。

昨年台風で被害を受けた奈良、和歌山では党の献身的な救援活動に「共産党を見直した」の声が広がりました。党議席が空白で09年総選挙比例票が13票の奈良県・野迫川村では、党県議団が開いた県政懇談会に会場いっぱい23人が参加しました。

### □日本共産党と保守の人を含む「一点共闘」が大きく広がっている

消費税増税・経済問題、TPP、原発問題などでの「一点共闘」の広がりは画期的です。

【消費税・「提言」】党の「経済提言」にもとづいて幅広い団体・個人との対話がすすみ、「提言」への共感が党派を超えて寄せられています。志位委員長が参加した大阪の経済懇談会では、経済人が「(提言は)経営者は必読だ。二大政党の劣化のなかで、第3の党はどこにあるか。その位置にあるのが共産党だ」(日本商工連盟大阪地区代表世話人・小池俊二氏)と発言。京都での懇談会には府中小企業団体中央会に加入する多くの建設関係団体が参加しました。

【TPP参加問題】滋賀でJA中央会、県医師会、県町村会など217団体と個人でつくる「TPPから県民のいのちと暮らし/医療と食を守る県民会議」が発足。県民大集会には1000人以上が参加し、こくた衆院議員があいさつしました。

【原発問題】兵庫県医師会理事会(昨年6月)での川島龍一会長のあいさつは3分の2が不破哲三社会科学研究所所長のパンフ『科学の目』で原発災害を考える』の紹介でした。その後開かれた県医師連盟の総会のあいさつで、川島会長は「ある野党は原発反対を一貫して主張しつづけてきた。我々はイデオロギーの違いを理由に意見を聞いてこなかった。その反省に立って、これからは党派を超えて交流し、我々の医療理念を提言していきたい」と語っています。

### □「人権・民主主義を守れ」に共感が広がっている

昨年大阪市長選では、党が推薦した候補者が立候補を辞退、「反独裁・民主主義擁護」の一点で党派を超えて共同し、橋下「維新の会」と正面对決しました。勝利までは至りませんでした。52万2,641票(得票率41.04%)と健闘しました。思想・良心の自由を踏みにじる橋下大阪市長の「思想調査」に対しては、徹底した追及とたたかいで中止に追い込みました。人権・民主主義を守る党への期待が高まっています。



日本の社会と政治をおおう閉塞状況の大本にあるのは、アメリカ・財界いいなりの「二つの異常」です。これ断ち切る大改革を進めれば素晴らしい希望と展望が開けてきます。こうした改革の展望を持っているのはわが党だけです。これに確信を持ち、現状告発とともに改革の展望を語り支持を広げましょう。国民が閉塞感にさいなまれているなか、展望を語りこそ前進できます。

## 橋下「維新の会」は古い政治を独裁的に推進 軽視せず、恐れず、堂々とたたかう

橋下「大阪維新の会」が、大阪、近畿を拠点に国政進出を企んでいます。「維新の会」は国民が「二大政党」にうんざりし、巨大メディアが「既成政党はみんなだめ」などとキャンペーンするなかで出現してきましたが、その中身を見るのが大切です。

総選挙公約・「維新八策」原案は、小泉「構造改革」をより極端にした競争至上主義、憲法9条改憲論、「日米同盟」基軸論など、手あかのついた古い政治ばかりです。同時に、民主主義を窒息させる恐怖・独裁政治、ファシズムにつながる異質の危険を持っています。「思想調査」は、大阪市職員だけでなく国民に矛先を向け、自治体を住民の福祉のための機関から住民を監視する秘密警察的な機関にするものです。

他党は橋下氏にひれ伏しています。反動的逆流に対して勇気を持って立ちあがる党は、日本共産党しかありません。「維新の会」は中身を見れば、大変もろいものです。軽視はしないが、恐れず堂々とたたかきましょう。そして彼らを持ちあげる巨大メディアに対し、人民的メディアである「しんぶん赤旗」を「党勢拡大運動」で大きく前進させることが特に大切です。

## 前進の可能性の一方で後退の危険も

### 大志とロマン持って立ち向かおう

総選挙の出発点は、10年参院比例票の80万7,127票です。この水準では2議席に後退します。4議席獲得には倍の得票が必要です。前進の条件は、はっきりありますが、よくたたかわなければ後退の危険もあります。近畿は「危機」と「希望」が交錯する情勢の最前線。選挙は大激戦になるでしょう。「第3の躍進」を近畿から切り開くため、大志とロマンをもってたたかきましょう。

## 得票目標決定は「支部主役」の選挙戦の“かなめ”

### あらゆる活動に生きた魂を吹き込む

激しい選挙戦を勝ち抜くうえで、支部が選挙戦を自覚的にたたかうことが決定的に重要です。全国・近畿の得票目標を保障するのが支部の目標ですが、目標を決めることは、あらゆる活動に生きた魂を吹き込み、自覚的選挙活動の大きな契機になります。「支部が主役」の選挙戦の“かなめ”が、得票目標の決定です。

第25回党大会は、民主連合政府実現への「成長・発展目標」として、どの府県・自治体・行政区でも10%以上、進んだところでは20~30%の得票率を実現することを呼びかけました。4中総決定では、『成長・発展目標』をあらためて自覚化し、全国すべての地方党機関、党支部が、それぞれの地域・職場・学園で、政治的関係を変える大志を持って総選挙にのぞむことを訴えました。この立場で得票目標を決め、実現のためにどんな運動に取り組み、「党勢拡大運動」をどう前進させるか、などを議論しましょう。

## 支部の一票一票の積み重ねが比例の当落を左右

近畿ブロックでは前回、前々回とも3議席目は最下位当選(29位)でした。前回はあとわずか6,479票、前々回は51,148票不足していたら2議席にとどまっていた。1支部にすると、1.5票、11票強です。一方、1議席増には35万5000票、1支部あたり80票増で可能です。得票目標実現を正面に「天井知らず」で大きく支持を広げましょう。

近畿ブロックは2府4県に及ぶ大きな「選挙区」ですが、支部の1票1票の積み重ねが当落を左右するのです。そのことをよく自覚し、「近畿は一つ」で力を合わせ、何としても160万票実現、4議席への前進を勝ち取りましょう。

**資料**

○全国の中の近畿ブロックの位置と役割

▼国政選挙の得票

11ブロックのなかで最大の有権者(約1680万人)をもつ近畿ブロックは、党支持者の割合も高い

	比例票の有権者比 (全国)	近畿ブロック 比例票の有権者比	ブロックごとの順位
09年総選挙	7.03%	9.56%	①東京 9.61%②近畿③北海道 7.26%
10年参院選	6.10%	8.80%	①近畿②東京 8.19%③北海道 6.74%

わが党の比例票の5分の1は近畿ブロックの得票

	比例票(全国)	近畿の比例票	全国における 近畿の割合
09年総選挙	4,943,886票	1,067,443票	21.59%
10年参院選	3,563,556票	807,127票	22.65%

▼国会議員数

衆参15人の国会議員の4割が近畿ブロック出身

	全国	近畿選出(出身)
衆議院	9人	穀田、吉井、宮本
参議院	6人	市田、山下、井上

(井上氏は京都と東海ブロック、北陸・信越ブロック)

▼地方議員数(4月16日時点)

党地方議員の5人に1人は、近畿ブロック

地方議会の8割で議案提出権を持つ、強力な党地方議員団を擁する地域

	全国	近畿	近畿の割合
地方議員数	2,756人	524人	19.01%
議案提出権を持つ 議会の割合	1789議会のうち 809議会=45.22%	204議会のうち 162議会=79.41%	

▼党勢(4月1日時点)

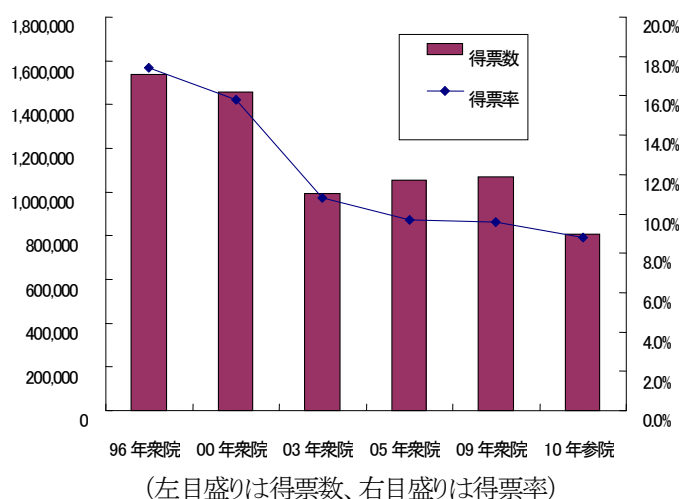
党員・後援会員は、全国の4分の1をしめ、有権者比でも全ブロックのなかで1位

	全国に占める割合	有権者比順位
党員	24.17%	1位
日刊紙	22.87%	2位
日曜版	20.53%	3位
後援会員	25.06%	1位
支部数	21.65%	

衆・参院選挙の得票状況など


	3月現在の 有権者数	有権者数 近畿比率	09年衆院比例		10年参院比例		得票 目標
			得票	率	得票	率	
大阪	7,114,004	42.2%	468,144	10.1%	359,722	9.3%	800,000
兵庫	4,552,303	27.0%	31,680	7.8%	162,538	6.8%	400,000
京都	2,097,469	12.4%	195,161	14.0%	150,905	13.8%	300,000
滋賀	1,115,006	6.6%	67,402	8.8%	51,621	7.9%	104,000
奈良	1,151,554	6.8%	62,205	7.8%	46,224	7.0%	107,000
和歌山	843,172	5.0%	42,851	8.5%	36,117	7.5%	70,000
近畿計	16,873,508		1,067,443	9.6%	807,127	8.8%	1,781,000


比例選挙 近畿の得票数・得票率の推移




09年 選挙	ブロック 比例得票数	ブロック 比例得票率	定数	議席 数	1議席 必要得票率	1議席増 必要得票数
北海道	241,345	7.26	8		11.11	9.5万
東北	315,201	5.89	14	1	6.67	31.8万
北関東	471,138	6.26	20	1	4.76	16.3万
東京	665,462	9.61	17	1	5.56	4万
南関東	601,299	7.00	22	1	4.35	7万
北陸信越	274,816	6.08	11		8.33	5.8万
東海	486,974	5.83	21	1	4.55	15.7万
近畿	1,067,443	9.56	29	3	3.33	35.5万
中国	244,761	5.71	11		8.33	3.9万
四国	150,171	6.67	6		14.29	4.3万
九州	425,276	5.27	21	1	4.55	18.7万
合計	4,943,886	7.03	180	9		

この4人を必ず国会へ 衆院近畿ブロック比例予定候補

  
 1947年生まれ。  
立命大文学部卒。  
京都市議を経て9  
3年、旧京都1区  
から初当選、96年  
近畿比例で当選  
**こくた恵二** 現・65歳  
衆院6期・党国対委員長

  
 1959年生まれ。  
和歌山大学教育  
学部に学ぶ。98  
年参院大阪選挙  
区で当選。09年  
近畿比例初当選  
**宮本たけし** 現・52歳  
衆院1期・党中央委員

  
 1968年生まれ。  
大阪経済大2部  
に学ぶ。元松竹  
芸能漫才師。  
07年大阪市議  
選でトップ当選  
**清水ただし** 新・43歳  
党大阪府副委員長

  
 1972年生まれ。  
神戸大文学部卒。  
原点は阪神・淡路  
大震災。10年参  
院兵庫選挙区に  
立候補  
**堀内照文** 新・39歳  
党准中央委員・兵庫副委員長